

平成28年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1502

施設名	伊丹市立図書館北分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 まちづくりステーションきらめき (団体の住所又は所在地) 伊丹市荒牧1丁目5番33号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	149,000人・300,000冊	今年度の実績値 145,385人・271,297冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28(上期)	H28(通期)
	来館者数(人)	140,159	155,127	148,513	144,913	146,407	78,308	145,385
	講座開催回数(回)	65	168	165	156	146	90	152
	講座参加者数(人)	686	3,237	2,756	2,630	3,183	2,214	3,687
	貸出冊数	251,684	303,912	289,063	286,548	287,414	146,481	271,297

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

	区分		平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	3カ年 平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	26	25	18	23	
		指定管理委託料	24, 362	24, 362	24, 384	24, 369	
		①合計	24, 388	24, 387	24, 402	24, 392	
	支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
			清掃等委託料	0	0	0	0
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	83	104	83	90
		運営	人件費	22, 369	22, 392	22, 727	22, 496
			事業等経費	1, 644	1, 630	1, 582	1, 619
			その他	0	0	0	0
			指定管理納付金	0	0	0	0
			②合計	24, 096	24, 126	24, 392	24, 205
		純収支（①－②）		292	261	10	188

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	30,970	30,970	31,242	31,862	31,862	31,884
	(内、指定管理委託料)	23,470	23,470	23,742	24,362	24,362	24,384
実質経費(歳出-歳入)		30,970	30,970	31,242	31,862	31,862	31,884

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	A	いずれの項目も「協定書」及び「仕様書」の規定事項を遵守し、伊丹市の方針に従い、適切に対処している。	A	館内が常に清潔に保たれており、アンケートにおいても高い評価を得ている。維持管理面では、協定書・仕様書に基づき適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	職員の資質向上のため必要な職場内研修の実施や外部研修への積極的参加を促すとともに必要な職員配置を行い、利用者へのサービス向上を図っている	B	職員の資質向上のため、県立図書館主催の研修、読み聞かせ講座や講演などに参加している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防法に定められた避難訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを作成し、危機管理意識の向上に努めている	B	複数名の防火管理者を配置し、緊急時に備えた取り組みを実施している。
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	複合施設にある図書館としての特色を最大限に生かし、多様な市民ニーズにこたえるサービスの充実に努めている	B	利用者のニーズを積極的に取り入れようとする姿勢が見られ、その成果がアンケートの結果で表れている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業計画どおり、実施しており、読み聞かせ等の読書啓発事業を効果的に実施するために、2階の児童館機能との連携を図っている。	B	同施設内の児童館機能と連携して効果的な事業展開を図っている。また、講座参加者数も増加している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護条例等の規定に基づき個人情報の遵守に努めるとともに、ホームページや広報誌等による情報の提供を積極的に行っている。	B	個人情報に関する法令を遵守し、適正に管理している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	毎月、経理処理のチェックを行い適正経理に努めている。	B	多重チェック等、適正な経理処理を行っている。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	来館者数・貸出冊数ともに目標値に届かなかったものの、図書サービスにおけるアンケートの結果では、9割以上もの利用者から高評価を得ていることもあり、利用者ニーズを積極的に取り入れた管理運営がなされている。また、講座参加者数が過去5年で最も多く、指定管理者の努力が表れているものと評価する。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成29年 3月 2日 ～ 平成29年 3月16日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	図書館窓口のスタッフの接遇態度はいかがですか。 「満足」「ほぼ満足」98%	今後も利用者の皆様に気持ち良く利用して頂けるよう努めます。
	図書館としての総合的な満足度はいかがですか 「満足している」「ほぼ満足している」95%	今後も一層レファレンスの充実、事業内容の創意工夫に努めます
回答者数	66	今後も地域に根差した図書館として生涯学習の推進に努めます。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置